

2025年4月1日

入学試験要領の変更について

都市環境科学研究科建築学域では、2027年4月入学・2026年10月入学の大学院博士前期課程の試験（2026年夏実施）の出題要領と配点を以下のように変更します。

| 試験科目 | | 配点 |
|-------------|------|-----|
| 専門科目（一） | | 200 |
| 専門科目（二） | 建築設計 | 100 |
| | 筆記試験 | |
| 面接（口頭試問を含む） | | 100 |
| 外国語（英語）*1 | | 100 |

*1 対象スコア：TOEFL、TOEIC

スコアは学域内基準に基づき100点満点に換算される。ただし、TOEFL-iBTで40点未満、TOEICで400点未満の場合は不合格とする。TOEFL-iBTで83点以上、TOEICで750点以上は満点扱いとする。

1. 専門科目（一）について

専門科目(一)の試験では、表1のA1からE1の5グループからそれぞれ2問ずつ、合計10問が出題されます。

表1 専門科目（一）出題分野

| グループ | 出題分野 |
|------|----------------|
| A1 | 構造力学・建築構造学*1 |
| B1 | 建築材料学・建築構法・生産学 |
| C1 | 建築環境学・建築環境システム |
| D1 | 建築計画学・都市計画学 |
| E1 | 建築史学・建築意匠・設計学 |

*1 鉄骨造、RC造、木造、振動学を出題範囲とする。

2. 専門科目（二）について

専門科目（二）として「建築設計」あるいは表 2 の A2 から E2 のグループのうちの 1 つの出題分野の筆記試験を選択できます。

表 2 専門科目（二）筆記試験 出題分野

| グループ | 出題分野 |
|------|----------------|
| A2 | 構造力学・建築構造学*1 |
| B2 | 建築材料学・建築構法・生産学 |
| C2 | 建築環境学・建築環境システム |
| D2 | 建築計画学・都市計画学 |
| E2 | 建築史学 |

*1 鉄骨造、RC造、木造、振動学を出題範囲とする。

「建築設計」では、ポートフォリオを用いた口頭試問を含む試験を行うので、試験時にポートフォリオを持参してください。